

第 44 回日本言語テスト学会研究例会

本研究例会は第 169 回 JACET 東アジア英語教育研究会と合同で開催します。

日時：2016 年 12 月 10 日（土）13 時 00 分～17 時 30 分

場所：西南学院大学東キャンパス大学院棟 4 階

テーマ：「テスト・データを用いた言語習得研究の可能性と課題」

受付開始：12:30～

開会の辞 事務局次長 片桐一彦（専修大学）：13:00-13:10

研究発表（13:10～13:40, 13:50～14:20, 14:30～15:00）

1. 「日本人英語学習者による tough 構文の理解」 伊藤彰浩（西南学院大学）
2. 「副詞の位置と意味の指導：英語教育におけるカートグラフィーの援用可能性」
西村知修（西南学院大学大学院博士後期課程）
3. 「プロトコルを用いた C-Test の構成概念的妥当性の検証」
木屋みなみ（福岡大学附属大濠中学校）

休憩・歓談 15:00～15:30

卒業論文発表会（テーマ：「ことばの学習と習得を科学する」）

(15:30～15:50, 15:55～16:15, 16:20～16:40, 16:45～17:05)

4. 「英語を専攻する大学生に対する個人別態度構造分析：学習動機はどこからくるのか」
高山友希（西南学院大学 4 年）
5. 「難読症学習者にとって識字困難な英単語の特徴：C-Test データによる分析」
川原 峻（西南学院大学 4 年）
6. 「カタカナ英語の理解における難度決定要因：日本語的要素と英語的要素の関係」
奈須瑞穂（西南学院大学 4 年）
7. 「教師の英語発音が日本人児童の英語発音に与える影響」
馬場友理奈（西南学院大学 4 年）

総合討議(17:05～17:30)

閉会の辞(17:30)

懇親会(18:00～20:00)

参加費 会員および学生は無料。それ以外の方は 500 円

問い合わせ先 伊藤彰浩（西南学院大学）email: LTSLA77@hotmail.com